

第3期宮城大学中期目標（中間案【パブコメ実施】→最終案）について

第3期中期目標（中間案・委員長確認後）	中間案に対する御意見	第3期中期目標（最終案）
<p>はじめに</p> <p>公立大学法人宮城大学は、「グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材の育成」と「学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与」することを大学の理念に掲げ、卓越した教育研究の拠点として、学術文化を振興し、その成果を広く社会に還元するとともに、看護分野においてはヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、他者と協働して様々な分野で活躍できる人材を、事業構想分野においては新たな価値を創造し、事業を計画・運営することで地域を活性化していく人材を、食産業分野においては食材生産から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い科学知識と技術を持ち、食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材を、それぞれ育成し、もって地域産業の発展と県民生活の向上に寄与してきた。</p> <p>教育においては、平成29年度に着手した大学改革により、学群学類制を導入するとともに、基盤教育の充実やアクティブ・ラーニングを重視した教育の質的転換を図ってきた。また、研究においては、研究水準の向上を図りつつ、被災地の実態やニーズに対応した震災復興特別研究を推進するとともに、地域連携センターの機能強化等を実施した。さらに社会貢献においては、東日本大震災により被災した地域社会の復興に向けて、産業の再生や復興を担う人材の育成に取り組むなど、被災地にある公立大学としての立場・役割を確かなものにしてきた。</p> <p>一方、大学を取り巻く環境に目を転じると、グローバル化や地方創生の推進、AIやIoT等の技術革新、新たな感染症の発生などの急激な変化に加え、少子化に伴う大学全入時代の到来により大学等の淘汰が予測されることから、各大学には生き残りをかけ、その特色をアピールした魅力ある大学づくりが求められている。</p> <p>このような状況を踏まえ、宮城大学は、大学間競争に打ち勝つため、各学群・研究科の特徴を踏まえた教育力・研究力を強化するとともに、公立大学として、県民の多様な期待と負託に応えるため、高度な実学に基づき、グローバルな視点を持って地域社会の活性化を担える人材の育成や、地域社会への貢献などへの取組を強化していくことが必要である。また、時代や環境の変化に応じて教育研究等のあり方を常に見直していくことが求められる。</p> <p>こうした考え方のもと、宮城大学が、自主・自律性を最大限に発揮し</p>	<p>○『「大学間競争に打ち勝つため」とあるが、これが目標でそのために教育研究力を強化する、という誤解を与えるのではないか。』との御意見を踏まえ修正。</p>	<p>はじめに</p> <p>公立大学法人宮城大学は、「グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材の育成」と「学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与」することを大学の理念に掲げ、卓越した教育研究の拠点として、学術文化を振興し、その成果を広く社会に還元するとともに、看護分野においてはヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、他者と協働して様々な分野で活躍できる人材を、事業構想分野においては新たな価値を創造し、事業を計画・運営することで地域を活性化していく人材を、食産業分野においては食材生産から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い科学知識と技術を持ち、食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材を、それぞれ育成し、もって地域産業の発展と県民生活の向上に寄与してきた。</p> <p>教育においては、平成29年度に着手した大学改革により、学群学類制を導入するとともに、基盤教育の充実やアクティブ・ラーニングを重視した教育の質的転換を図ってきた。また、研究においては、研究水準の向上を図りつつ、被災地の実態やニーズに対応した震災復興特別研究を推進するとともに、地域連携センターの機能強化等を実施した。さらに社会貢献においては、東日本大震災により被災した地域社会の復興に向けて、産業の再生や復興を担う人材の育成に取り組むなど、被災地にある公立大学としての立場・役割を確かなものにしてきた。</p> <p>一方、大学を取り巻く環境に目を転じると、グローバル化や地方創生の推進、AIやIoT等の技術革新、新たな感染症の発生などの急激な変化に加え、少子化に伴う大学全入時代の到来により大学等の淘汰が予測されることから、各大学には生き残りをかけ、その特色をアピールした魅力ある大学づくりが求められている。</p> <p>このような状況を踏まえ、宮城大学には、公立大学として、県民の多様な期待と負託に応え____、高度な実学に基づき、グローバルな視点を持って地域社会の活性化を担える人材の育成や、地域社会への貢献などへの取組を推進するため、各学群・研究科の特徴を踏まえた教育力・研究力を強化するとともに、時代や環境の変化に応じて教育研究等のあり方を常に見直していくことが求められる。</p> <p>こうした考え方のもと、宮城大学が、自主・自律性を最大限に発揮し</p>

第3期中期目標（中間案・委員長確認後）	中間案に対する御意見	第3期中期目標（最終案）
<p>ながら大学運営を推進するとともに、厳しい環境下においても地域に必要とされる大学として高い存在意義を示すよう、以下のとおり第3期の6年間における中期目標を定める。</p>		<p>ながら大学運営を推進するとともに、厳しい環境下においても地域に必要とされる大学として高い存在意義を示すよう、以下のとおり第3期の6年間における中期目標を定める。</p>